

日本共産党平塚市議会議員団



市内同一介護予防制度と総合公園駐車場有料化を問う  
高山 和義 議員

福祉村開設・介護予防は地域意向を尊重

問 新しい総合事業の担い手として町内福祉村を中心とした協議体づくりを進めてきた。町内福祉村の開設にどう取り組んだのか。

市長 町内福祉村の制度概要や有用性を地域に説明しており、現在1地区の開設を準備している。持続性や主体性が大事であり、各地域で福祉の在り方を十分に検討してもらう。設置は地域の意向を尊重している。

問 町内福祉村の開設が進んでいない理由は何か。  
福祉部長 地域の課題解決の手段に町内福祉村があり、別の方法で解決が図られればそれでもよい。地域で必要性を感じたとき町内福祉村ができる。町内福祉村の有無で受けられるサービスが違う。町内福祉村がなくてもよい。

総合公園 駐車場有料化

問 同じ市の施設の駐車場で、使用料の基準が異なるのは理解が得られるのか。  
福祉部長 町内福祉村ができれば、やらなくていいの。町内福祉村がやらないと言え、やらなくていいの。

問 ボランティア登録者は増えているが、実際に活動している人は少ないと聞いている。市はどのように支援していくのか。  
福祉部長 地域の活動の場として企業退職者への声掛けなども考えており、市も地域と一緒に努力したい。地域福祉を考える上で大きな問題と認識している。

問 事業者負担としていた未舗装部分の整備費用を市が負担するが、今後必要な整備も市が負担するのか。  
都市整備部長 検討する立地化などの整備は市が、舗装の補修などは事業者が負担することになると思う。

このほかの質問 平成30年度予算編成方針について

平塚自民クラブ



震災の教訓、震災が提起した問題は何かであったのか  
吉野 和美 議員

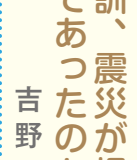
地域コミュニティの現状と将来像は

問 地域課題に照らした事業活動や拠点施設運営の組織化を軸として、地域で蓄積された住民の力を育む支援行政への転換が必要と考える。本市は安定的で継続的な地域づくりをどのように進めようとしているか。  
市民部長 自治会をはじめ地域のさまざまな団体と行政が連携し、支え合いながらまちづくりを進めることが大切である。今後も、コミュニティの自立と活性化がより一層進むよう、取り組んでいきたい。

問 東日本大震災や熊本地震の教訓から、計画をどのように改訂したのか。  
市長 熊本地震での課題を踏まえ、物資の調達、供給体制の強化を重点対策に位置付けた。物資などの集積拠点の強化と拡充を図り、効率的な調達や供給体制の確保を目指していく。

問 平塚市総合計画やその他の個別計画との整合をどのように図るのか。  
市長 各種対策における取り組みの方向性を明確にし、各種施策の実効性を確保し、更なる減災に向けた

平塚市役所 行政改革



平塚市の待機児童はどうなっているか。  
健康・子ども部長 平成29年11月1日現在178人で、0歳から2歳が全体の約9割を占める。待機児童の多い地域を中心に施設整備、保育士確保の充実に取り組む。

問 幼稚園から認定こども園に移行しづらい問題をどう理解しているか。  
健康・子ども部長 情報提供や個別相談を行い、移行への積極的な支援をする。

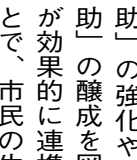
問 市内の認可外保育所の数と預り児童数を伺う。  
健康・子ども部長 県に届け出のある施設は7か所、児童数は定員で70人程度と把握している。

問 利用している家庭への助成が必要ではないか。  
健康・子ども部長 国による保育の無償化の報道もある。動向を注視したい。小規模保育所をどう活用しているか。  
健康・子ども部長 保育の受け皿の確保策として小規模保育事業や企業主導型保育事業の活用を検討する。

問 家庭的保育も検討したかどうか。  
健康・子ども部長 今後の課題として検討したい。

問 市街地の自治会は戸別収集に期待している。藤沢市などで実行しているが、早期導入すべきでないか。  
環境部長 平塚市廃棄物対策審議会の答申を踏まえ、

平塚自民クラブ 所属議員



白井 照人 議員

問 導人へのスケジュールはどうなっているのか。  
環境部長 今年度の審議会からの答申を踏まえて考えていきたい。

問 社会実験はいつ実施するのか。  
環境部長 データが取れる条件の下で社会実験を実施する必要があるので、来年度まともながら進めたい。

問 導人へのスケジュールはどうなっているのか。  
環境部長 今年度の審議会からの答申を踏まえて考えていきたい。

問 導人へのスケジュールはどうなっているのか。  
環境部長 データが取れる条件の下で社会実験を実施する必要があるので、来年度まともながら進めたい。

インターネット中継

本会議の質問と答弁の様子は、インターネットで生中継と録画中継を行っています。各議員の質問内容を詳しく知りたい方は市議会ホームページからアクセスしてください。

録画中継は発言日のおおむね1週間後から、会議録をホームページに掲載するまでの間、ご覧いただけます。

市民病院の赤字の原因は市にあるのでは



平塚市の市民病院に対する考えと支援のあり方  
松本 敏子 議員

問 公立病院は市民の生命と健康を守るため、安定的に医療を提供する役割がある。また、採算をとること

が困難な医療などの経費は一般会計で負担することが地方公営企業法で定められている。市民病院は建て替えや消費税増税、診療報酬改定などにより3年連続赤字となり、市から最大35億円の長期借り入れをする事態となっている。しかし本市は他の自治体より他会計からの繰入額が異常に少なく、この7年間だけでも基準額より48億円も少ない。市民病院の赤字の原因は、市にあるのではないか。

問 企業政策部長 本市は負担金以外に補助金及び出資金を過去に支出しており、必要な支援は行ってきた。

日本共産党平塚市議会議員団 所属議員 渡辺 敏光 議員

請願・陳情を市議会へ

市民の皆さんの意見や要望を議会に伝え、市政に反映させる方法として請願と陳情があります。

請願には賛同する議員の紹介が必要ですが、陳情には必要ありません。



請願には賛同する議員の紹介が必要ですが、陳情には必要ありません。